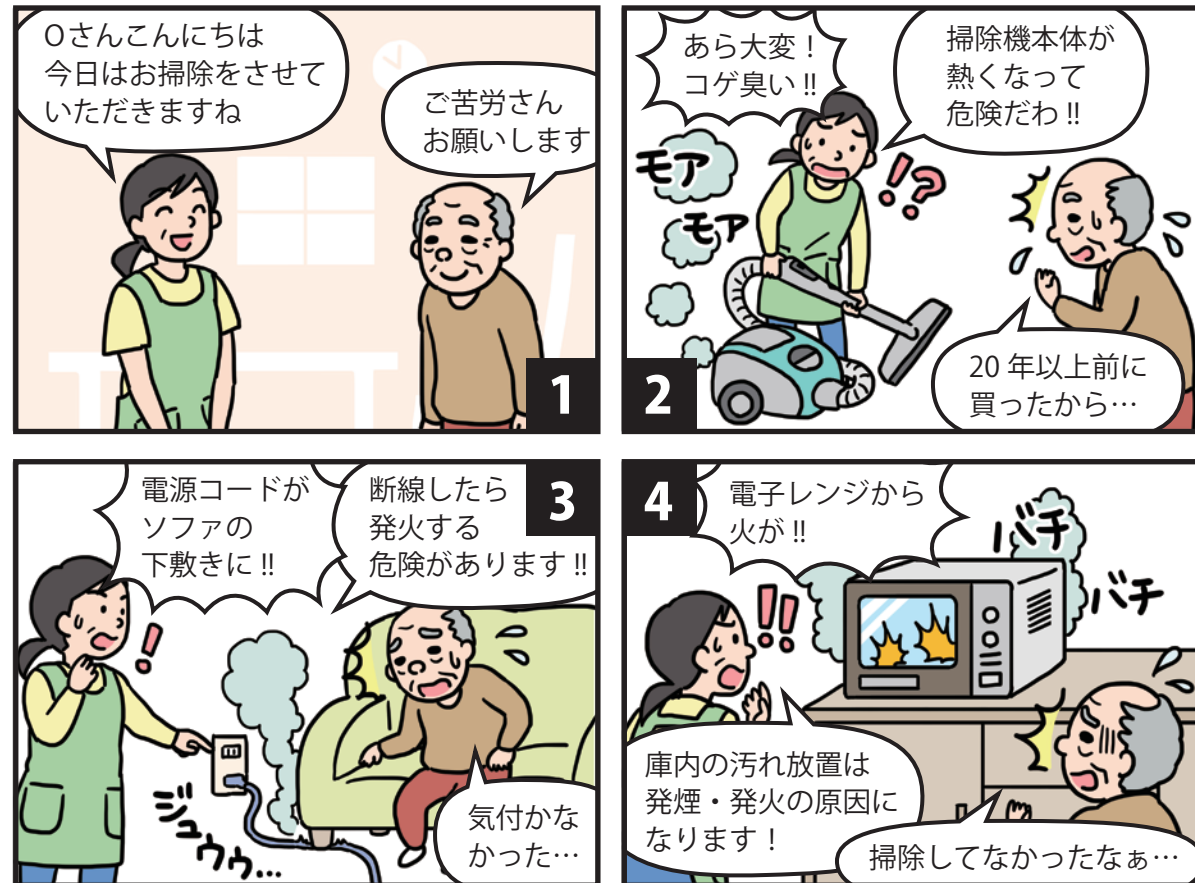


掃除機が熱くなるのに気付いて



事例の概要

—ホームヘルパー（訪問介護員）の気付き—

私が担当する一人暮らしのOさんのお宅を訪問した時、リビングで電気掃除機をかけていたら焦げ臭く、掃除機本体と電源コードが熱くなっていることに気付きました。電気掃除機は20年以上前に購入したもので、長期間使用による経年劣化と、電源コードのねじれ等により、発熱したものと思われます。

数日前は、カーペットの掃除をしていたら、電源コードがソファの下敷きになっていることに気付きました。半断線になりかけ、危うく発熱・出火するところでした。

また、ある日のこと、お昼の準備で冷凍ご飯を電子レンジで解凍していたら、庫内の壁面から発火しました。庫内は汚れがこびりついていました。

気付きのポイントとトラブルの特徴

気付きのポイント

- ・かなり古そうな電気製品を使用している。
- ・たこ足配線やコードを束ねたままで使用している。
- ・電子レンジやオーブントースター、グリル等の庫内が汚れている。

トラブルの特徴

製品事故等、安全に関する消費者トラブルも、契約に関するトラブルと同じように、生活の安心・安全を脅かす消費者被害です。
過度に長期間使用された電気製品等は、部品や材料に劣化が生じ、火災事故などを引き起こすリスクがあります。また、電源コードの上にものを乗せると、傷がついたり熱がこもったりします。そのほか、コンセントの抜き差しでコードを無理に引っ張る、たこ足配線で使用する、コードを束ねたまま使用することにより、放熱を妨げられ温度が高くなることがあります。電子レンジは、使用中の発煙・発火などの事故が多くみられます。原因としては①庫内の汚れの付着、②食品加熱のしすぎ、③長年の使用等が考えられます。

製品の安全性に関するトラブル

- ・できる限り速やかに、本人に原因を排除するよう伝える。
- ・本人が原因を排除できない場合は、気付いた人が、説明をした上で原因を排除する。必要に応じて、ホームヘルパー等の関係者と連携・協力する。

消費生活センターに相談したら

物を大切に長く使うことは美德という考えがありますが、一方で、電気製品は使用していても劣化は進みます。電源コードや電気製品の周辺が熱くなるなど「おかしいな」と感じる症状が出たら、必ず点検しましょう。万一、電子レンジ等の調理器具の庫内で発煙・発火した時は、電源プラグを抜き、扉を開けず煙や火が収まるのを待ちましょう。慌てて扉を開くと酸素が急激に入るため炎の勢いが増して危険です。

▶見守る方へアドバイス

消費者庁リコール情報サイト (<https://www.recall.caa.go.jp/>) を参考に、安全に問題がある製品について情報提供しましょう。また、コンセント等にほこりが付着していないか、製品は安全な場所に設置されているかなどについて、小まめに点検するよう伝えましょう。

消費者被害かな？と思ったら消費生活センターへ ☎188



消費者庁消費者ホットライン188
イメージキャラクターイヤン